

「与論小学校の与論の十五夜踊伝承活動の取組」

1 学校名

与論町立与論小学校

2 学年・人数

4～6年生男子児童（計26人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年9月 与論小学校（教室・運動場）

(2) 発表の日時・場所

令和3年9月26日 与論小学校運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

与論の十五夜踊（よろんのじゅうごやおどり）

(2) 由来

1561（永禄4）年に、当時の与論城主が、島内・琉球・大和の芸能を学ばせ、当時の島の娯楽としたもの。旧暦3月・8月・10月の十五夜に行われる。

(3) 構成等

初めに、二番組・一番組合同で雨乞いの踊りを奉納する。

その後、二番組・一番組の順に踊りを奉納し、最後に六十節・沖泊まりを奉納する。旧暦8月の十五夜では獅子舞と綱引きも行う。

5 保存会や地域との連携の具体

与論の十五夜踊は本来世襲制で行われていたが、少子化の影響もあり、現在はその限りではなく、教育委員会や町と協力しながら伝承・保存に努めている。

その事業の一環として現在は与論小学校の児童に、二番組・一番組双方の踊りを伝承する活動を行い、後継者育成に努めている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

「総合的な学習の時間」を使い、与論十五夜踊保存会の踊り子に直々に指導を受けている。学校の運動会で発表することで、地域の方々に披露する機会を設けている。

以前は豊年祭での児童による奉納もしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考え、現在は児童の奉納は中止となっている。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【与論十五夜踊保存会の方々との練習（与論小学校文化交流室，運動場）】



【運動会では地域の方々に与論の十五夜踊を披露（与論小学校運動場）】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【十五夜踊保存会】

与論島の伝統の一つとして「与論の十五夜踊」を受け継いでいるが、年々後継者が減ってきており、新規会員の加入や育成が課題となっている。また、昔は演目の大部分を踊ることができていたが、450年以上前から現代まで受け継がれてきている中で、演目によっては消滅の危機にあるものもある。

与論小学校の児童には、国の重要無形民俗文化財である十五夜踊を学ぶことで、地域に誇りをもち、郷土愛を育ててほしい。

【児童】

運動会練習が始まると、毎年「与論十五夜踊保存会」のみなさんが与論小学校に来てくださる。4年生以上の男子がこの踊りを教えてもらい、運動会で発表する。今年も来てくださったのでとても嬉しかった。「与論の十五夜踊」には長い歴史があり、たくさんの人たちがこの踊りを受け継いできた。しかし、だんだんと受け継ぐ人が減ってきていると聞き、「教えてもらっているぼくたちがしっかりと覚え、後輩に教えられるようにならないといけないな。」と思った。

いよいよ運動会当日。どきどきしながら校庭へ入場し、教えてもらった「与論の十五夜踊」を発表した。緊張したけど、間違わずに踊ることができた。踊り終わったあと、後輩や地域の皆さんからたくさんの拍手をもらった。そのとき、「これからも教えてもらった与論の十五夜踊りを忘れず、大人になったら子供たちに教えられるようになるろう。」と思った。